

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

沖縄県 久米島町

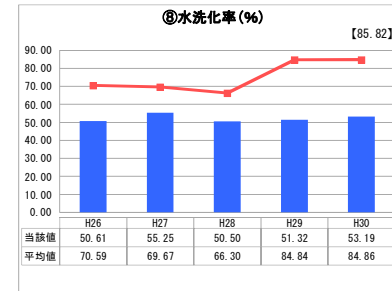
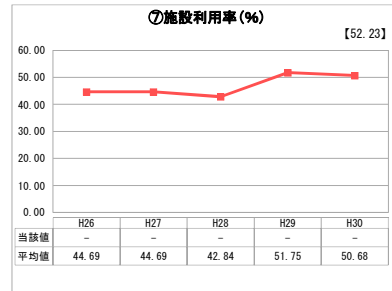
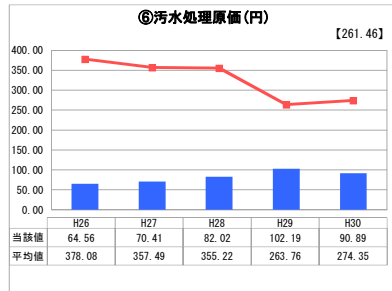
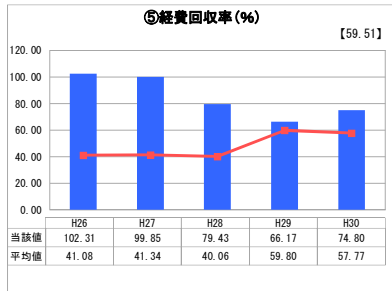
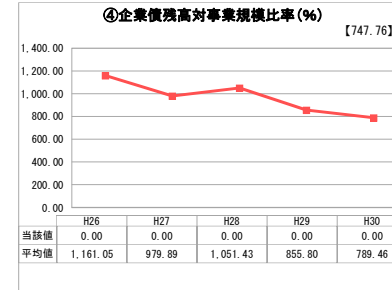
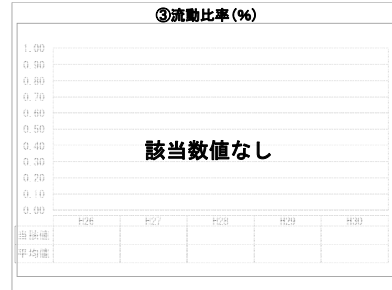
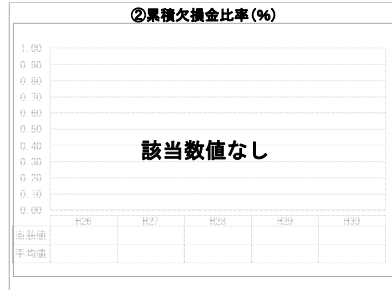
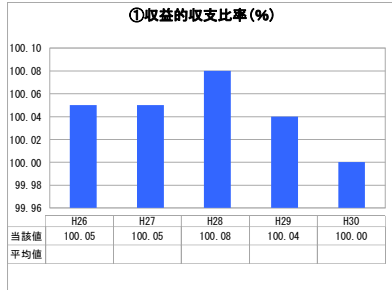
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	5.27	87.67	1,486

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,873	63.65	123.69
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
408	0.31	1,316.13

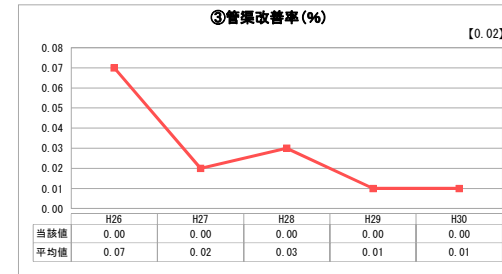
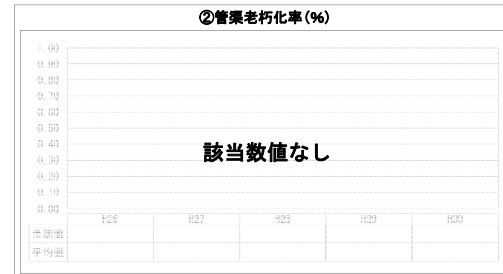
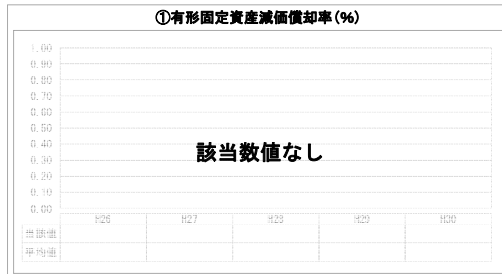
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率  
平成23年度に料金改定があり、以降各年度の収支は黒字となっており、健全な状況といえるが、今後の更新投資等に充てる財源を確保するためには、更なる費用の削減及び接続率の向上に取り組む必要がある。

④企業債残高対事業規模比率  
新たな投資計画の予定がなく、企業債残高は少額となっている。毎年度の企業債元利償還金は、一般会計からの繰入金で賄っている。

⑤経費回収率  
平成23年度に料金改定があり、平均値を上回るようになった。平成30年度には74.80%となっており、今後も回収率の向上に努める。

⑥汚水処理原価  
平均値を下回っており、有収水量の増加により原価は減少傾向にある。今後は、不明水への対策が必要となる。

⑦施設利用率  
平成13年度特定環境保全公共下水道へ接続（汚水処理を特環の処理場で処理している）。

⑧水洗化率  
毎年度わずかに減少しており平成30年度には53.19%となっており、平均値を下回っている。整備した施設が適正な水準の料金収入に結びついていない。今後は、水洗化率向上のための普及啓蒙活動を強化する必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

③管渠改善率  
供用開始から18年が経過しているが、現段階では管路更新の必要性は低い。

## 全体総括

経営の健全性及び効率性を図りつつ、また、今後想定される下水道施設の老朽化対策に向け、水洗化率の向上に努め、下水道事業として独立採算とする経営への取り組みが必要。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。